

# 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 商品本部 九州地区

(福岡県福岡市)

## 活動の概要

- 大分県内のセブン-イレブン店舗で販売する商品に、大分県産の食材を使用することで、地産地消を推進。
- 大分県と連携した計画的な商品開発により、生産者から継続的に原材料を調達。弁当総菜だけでなく、加工食品の原材料としても活用し、使用量を拡大。また、適期に収穫出来なかった「カボス」を加工食品の原材料として活用し、農家の新しい収入源として確保するとともに、廃棄物の削減にも貢献。
- 店舗におけるフェアの開催やメディアの活用による効率的な商品のPRは、大分県産食材の認知度を向上し、販売増にとともに食材使用量の増加は、生産者の所得を確保。

## 背景・経緯

- 2011年 大分県と包括連携協定を締結。
- 2017年 社内に大分地区開発プロジェクト会議（大分PJT）を発足。大分県や地元生産者団体の協力を得て、大分県産の原材料を使用した商品開発を開始。
- 2018 大分PJTを毎月開催し、大分県産「しらす」「にら」～19年「ねぎ」を使用した商品を開発。
- 2020年 全国の生産量の98%を生産する「カボス」の商品化を開始。特に「完熟かぼす」を使用してSDGsにも貢献。



大分地区プロジェクト会議  
(毎月1回開催)



大分県産ニラを使った  
ニラ豚丼



大分県産しらすと高菜のパスタ



大分県産完熟かぼすサワー